

菊川ジュニアビレッジの取り組み (静岡県菊川市)

菊川ジュニアビレッジでは、小中学生が農業を通じて、起業・経営を経験します。



- ① 部員たち主体で会社を経営！
実社会での体験を通して、勉強や運動以外でも自分の得意が見つかり、自信がもてるように。
将来の夢も見つかるかも！
- ② 人前で話す機会がいっぱい。もじもじしてても始まらない！回を重ねるごとにうまくなります。
- ③ いつも買っている商品がどう作られるのか、どう売られているのかがわかります。
何とんでも、自分たちの商品で稼ぐ楽しさはたまりません！

部員の声

- ・パソコンで資料を作ってプレゼンできるようになった。
- ・部員の個性を認め合って活動をしているのが楽しい。
- ・営業の仕事を通して、考える力が自然に身に付きました。

保護者の声

- ・学校や部活、家では絶対に経験できない活動なので、子どもにとっては本当に貴重な体験だと思います。
- ・活動を始めてから、自信がついた様子です。



社長、営業、生産、広報、自分のやってみたいことに挑戦！

意見を伝える機会がたくさん！
学校でも発表が得意に！



みんなで話し合っ
て“仕事”を進める！

自分たちの考えたデザインが商品に！



商品企画、デザインを考える！



活動の紹介など、
プレゼンにもチャレンジ！



実際に販売！
東京でもしっかり売り上げた！

年間売上目標
200万円に対し、
215万円で目標達成！

菊川市の課題

- ・特産のお茶を中心とした農作物の価格低迷と、それに伴う地域経済の縮小
- ・農業従事者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加
- ・大学進学等による若年層の流出

菊川ジュニアビレッジ

菊川ジュニアビレッジでは、小・中学生が、農業を通じて起業・経営を経験します。

それにより、不確実な未来を「生き抜く力」

- 一、栽培を通じて、責任感と継続する力を
 - 一、商品企画を通じて、創造力とプレゼンテーション力を
 - 一、販売を通じて、金銭感覚とコミュニケーション力を
- 身に付けることが狙いです。

将来的には、産業を興すことのできる、地域発次世代イノベーターの育成を目指します。

部員たちは「菊川を有名にする」「菊川の茶業を盛り上げる」ことを目的に、年間を通して、作物の栽培・商品企画・販売を行っています。

現在は、ハーブを栽培し、菊川市産の和紅茶とブレンドしたハーブティーをつくっています。

これまでと、これから

2016年度に立ち上げ、今年度で3年目。

お茶に付加価値を付けたハーブティーの販売が軌道に乗ってきました。

部員たちにも、地元に貢献したいという意識が芽生えたり、経営への興味が広がったりと効果があり、また自分たちで意見を出して実行していく力が身に付いてきました。

これからについては

「ITを使った農業をしてみたい」「ハーブ以外のもの、野菜を作りたい」「ハーブを使ったお菓子を作って、ハーブティーと一緒に売りたい」などの意見がある。

まず2019年度は、①野菜作り、②お菓子作りを実現させる。

①野菜作り

3, 4月 野菜作りについて地域の農家さんに相談

5月～ ハーブの畑の一角で栽培（作物により時期は前後する）

販売場所は、ハーブティーの販売イベントや地元スーパーの直売コーナーなど。

②お菓子作り

地元の菓子店と企画中。

行政の連携

学生が自ら考え、行動にうつし、課題を解決していく取り組みであるため、菊川市としてはサポート役に務めました。

①活動時の助言

学生が行き詰まり、相談があった場合に、その打開策のヒントや手助けをすることで関わりを持ちました。

②参加イベントの提供・協力

販売イベントの場の提供として、市の産業際において、ブースを提供するなどのサポートをしました。また、東京の移住センターで開催された移住セミナーと物産展も、行政とジュニアビレッジが協力して発表や販売を行いました。